

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(9月7日から9月13日回答分)

	症例数	手術	
陽性患者	2	気管切開	1
		腹腔鏡下手術	1

手術室で気管挿管	3	McGrath	3
(喉頭展開1回で挿管)	(3)		
区域麻酔	1		
既挿管	1		

COVID-19疑い患者	3	開腹術	1
		腹腔鏡下手術	1
		帝王切開	1

PPE	フェイスシールド	3
	ゴーグル	1
	シールド付きマスク	1
	記載なし	0
	N95	5
	PAPR(動力付き)	0
	手袋2枚	5
	手袋1枚	0

事前シミュレーション実施	あり	4
	なし	1
	記載なし	0

自由記載

感染関連	マンパワー、体制	時間外で看護師2名しかおらず、外回り看護師の手術室の出入りが多くなってしまった。看護師は手術室外で対応する看護師も1名必要だと感じた。
	認識	他院で抗原検査が疑陽性と判定され当院に搬送された。麻酔導入直前に当院の院内PCR検査で陽性と判明した。その後も陽性として対応した。

陽性	気管切開	工夫したこと: 咳嗽防止に筋弛緩薬を十分量使用した。困ったこと: 陽圧換気で気切カニューラ脇からリークがありカフ圧を上げて対応した。
----	------	--

疑い		感染の可能性が低かったが、事前シミュレーションも兼ねてフルPPEで対応した。
----	--	--